

2023

原著論文（英文）

1. Hamatani S, Matsumoto K, Andersson G, Tomioka Y, Numata S, Kamashita R, Sekiguchi A, Sato Y, Fukudo S, Sasaki N, Nakamura M, Otani R, Sakuta R, Hirano Y, Kosaka H, Mizuno Y: Guided Internet-Based Cognitive Behavioral Therapy for Women With Bulimia Nervosa: Protocol for a Multicenter Randomized Controlled Trial. *JMIR Res Protoc*. 2023 Sep 19;12:e49828. doi: 10.2196/49828.
2. Imatani K, Inoue T, Oto Y, Kitajima T, Otani R, Nakashima SF, Kanazawa S, Yamaguchi MK, Sakuta R, Matsubara T: Generalized anxiety disorder and depression associated with developmental prosopagnosia: a case report. *J Mental Health Clinical Psychology* 2023 (in press).
3. Oto Y, Murakami N, Imatani K, Inoue T, Itabashi H, Shiraishi M, Nitta A, Matsubara K, Kobayashi S, Ihara H, Nagai T, Matsubara T: Perinatal and neonatal characteristics of Prader-Willi syndrome in Japan. *Pediatr Int*. 2023 Jan-Dec;65(1):e15540. (IF: 1.617)
4. Choi EJ, Vandewouw MM, de Villa K, Inoue T, Taylor MJ: The development of functional connectivity within the dorsal striatum from early childhood to adulthood. *Dev Cogn Neurosci*. 2023 May 22;61:101258. (IF: 5.811)

原著論文（和文）

1. 土生川千珠、村上佳津美、石井隆大、柳本嘉時、井上建、岡田あゆみ、吉田誠司、竹中義人、大谷良子、作田亮一、田中知絵、藤井智香子、重安良恵、淵上達夫、渡部泰弘、藤田之彦、小柳憲司、松島礼子、大堀彰子、永井章、井口敏之、江島伸興、永光信一郎：COVID-19 対策での長期休校措置前後の小児心身症関連疾患受診者数の推移。 *日本小児科学会誌* 127(10):1277-1288, 2023
2. 井上建, 小坂浩隆, 岡崎玲子, 飯田直子, 磯部昌憲, 稲田修士, 岡田あゆみ, 岡本百合, 香山雪彦, 河合啓介, 河野次郎, 菊地裕絵, 木村大, 越野由紀, 小林聡幸, 清水真理子, 庄司保子, 高倉修, 高宮静男, 竹林淳和, 林田麻衣子, 樋口文宏, 細木瑞穂, 水田桂子, 米良貴嗣, 山内常生, 山崎允宏, 和田良久, 北島翼, 大谷良子, 永田利彦, 作田亮一：COVID-19 流行下における神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症の新規外来患者および入院患者数の全国調査。 *日本摂食障害学会雑誌* 3(1), 3-12, 2023

総説

1. 作田亮一：子どもの摂食障害 - 発症要因からみた治療・支援を考える -. 保健の科学 65(7):442-447,2023
2. 作田亮一：食行動障害および摂食障害. 小児内科 55(6):987-992,2023
3. 北島翼, 作田亮一：摂食障害 診療科別対応小児科、精神科 Resident 4(3):27-29,2023
4. 大谷良子：エキスパートが教える小児の薬物治療. 摂食障害 小児内科 55(増刊):853-856,2023
5. 大谷良子：パンデミック禍における思春期女性のヘルスケア. 子どもの摂食障害. 思春期学 40(2):207-212,2023
6. 北島翼：心身症. 小児科学レビュー-最新主要文献とガイドライン- 小児科臨床 76(1):9-14,2023
7. 井上建：小児摂食障害の自閉傾向に関する研究と RG-CBIT の研究から学んだこと. 子どもの心とからだ 日本小児心身医学会雑誌 31(4): 534-536, 2023
8. 井上建：チック症・トゥレット症 Update. 小児内科 55(6): 1023-1026, 2023
9. 井上建：回避・制限性食物摂取症 Update. 臨床精神医学 52(3): 275-282, 2023
10. 井上建：ゲーム行動症 Update. カレントセラピー 41(11):1004-1009, 2023
11. 井上建、作田亮一：神経性やせ症(解説). 小児疾患診療のための病態生理 3 改訂 6(54): (増刊)76,2023

著書

1. 作田亮一（監修）. 「摂食障害」からわが子を救う本：正しい理解と回復への方法. 大和出版 2023
2. 鈴木雄一, 大谷良子, 井上建, 井口敏之, 鈴木由紀, 柳本嘉時, 富岡和美, 藤井智香子, 石井隆大, 石橋孝勇: 子どもの心とからだ小児摂食障害診療ガイドライン改訂3版. 32(3) 396-430, 2023.
3. 北島翼：最新主要文献とガイドラインでみる小児科学レビュー2023 心身症(17):212-217, 2023
4. 作田亮一：心身医学からみた子ども. 健康相談活動学－実践から理論、そして学問へー. 日本健康相談活動学会（編）, 39-40, 2023

執筆(その他)

1. 大谷良子：小児心身の広場「わたしの好きなこと」子どもの心とからだ. 32(3):451-452, 2023

学会シンポジウム

1. 井上建：COVID-19 流行下で摂食障害は増えたのか？ 第 41 回日本社会精神医学会 (シンポジウム). 3.17.2023, 岡山
2. 大谷良子：小児期の摂食障害の理解と対応：神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症 第 41 回社会精神医学会(シンポジウム). 3.17.2023, 岡山
3. 大谷良子：パンデミックによって児童思春期摂食障害はどのように変化したのか？ 第 126 回日本小児科学会学術集会(シンポジウム). 4.16.2023, 東京
4. 井上建：Impact of COVID19 pandemic 摂食障害全国調査が教えてくれたこと. 第 119 回日本精神神経学会学術総会. 6.22.2023, 神奈川
5. 北島翼：これからの摂食障害治療を考える:スタンダードな身体管理と精神療法に向けて 児童思春期神経性やせ症に対する Family based treatment(FBT). 第 119 回日本精神神経学会学術集会(シンポジウム). 6.23.2023, 神奈川
6. 井上建：小児におけるゲーム障害の現状 -IGDS9-SF 日本語版を用いて-. 第 119 回日本精神神経学会学術総会. 6.23.2023, 神奈川
7. 大谷良子：「食べられない子どもたち」とつながる「神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症」第 22 回日本母子看護学会学術集会(シンポジウム). 8.5.2023, 東京
8. 井上建：子どものための研究をかたちにしようー臨床的課題をどのように研究立案するのかー. 第 41 回小児心身学会. 9.15.2023, 和歌山
9. 大谷良子：自閉症スペクトラム障害研究の展望 第 87 回日本心理学会(シンポジウム) 9.16.2023, 神戸
10. 作田亮一, 北島翼, 井上建, 大谷良子：テーマ「小児摂食障害プライマリー治療の手引き作成」. 第 26 回日本摂食障害学会 シンポジウム 6 「厚労省摂食障害研究班のシンポジウム」10.21.2023, 東京
11. 作田亮一：「小児科医が子どものこころの診療を担う」ということ. 第 27 回日本心療内科学会学術大会「小児科 皮膚科 鹿領域における診断と治療の普遍性と独自性」(治療的自己研究会シンポジウム). 12.9.2023, 東京

学会特別・教育・ランチョンセミナー等講演

1. 作田亮一：「学校にいけない児童生徒」～一般小児科外来で対応できる子どものこころと身体の治療～. 第 47 回千葉県小児保健協会総会・学術集会 1.28.2023, 千葉
2. 作田亮一：「ADHD と不登校の問題」日本 ADHD 学会第 14 回総会. 3.4.2023, 東京
3. 作田亮一：神経発達症の二次性併存症と睡眠の問題. 第 165 回埼玉県小児科医会・第 192 回小児科学会学術集会埼玉地方会ランチョン教育セミナー 9.10.2023, 川越市
4. 作田亮一：「食べること」小児の摂食障害と発達特性. 第 41 回日本小児心身医学会学術集会教育セミナー 9.16.2023 和歌山

国際学会発表

1. Nagamitsu S, Okada A, Sakuta R, Habukawa C, Koyanagi K, Ishii R, Kanie A, Ito M, Otani R, Kitajima T, Inoue T, Tanaka C, Fujii C, Shigeyasu Y, Kakuma K, and Horikoshi M: Effectiveness of interventions using a smartphone cognitive behavior therapy application for children with psychosomatic disorders.
70th American Academy of Child and Adolescent Psychiatry (AACAP)
New York USA, 23-28.10.23

国内学会発表

1. 今谷魁志, 井上建, 嶋田怜士, 北島翼, 大谷良子, 作田亮一: 先天性相貌失認が関連したと考えた心身症・不登校の女兒例 第 13 回日本小児心身医学会関東甲信越地方会. 1.29.2023, 東京, WEB
2. 岩波純平, 北島翼, 淵上真裕美, 村山美優, 小木曾梓, 吉田有希, 深谷悠太, 森下菖子, 嶋田怜士, 椎橋文子, 松島奈穂, 井上建, 大谷良子, 作田亮一: 「認知特性の評価に WISC-V が有用だった神経性やせ症男児例」. 第 13 回日本小児心身医学会関東甲信越地方会. 1.29.2023, 東京, WEB
3. 森下菖子, 北島翼, 椎橋文子, 松原直己, 松島奈穂, 越野由紀, 井上建, 大谷良子, 作田亮一: 「新型コロナウイルス感染症の流行に伴う子どものこころと生活への影響—アンケート調査より—64」. 第 13 回日本小児心身医学会関東甲信越地方会. 1.29.2023, 東京, WEB
4. 大谷良子: ここ×から診療総論『来てくれてありがとう』からはじめよう. 小児心身医学会次世代育成検討室企画. 初学者のためのここ×からセミナー. 2.23.2023, WEB
5. 北島翼, 川瀬利弘, 高橋俊光, 藤木総一郎, 野元謙作, 作田亮一, 神作健司: Evaluation of sense of agency in adolescents with anorexia nervosa. 第 100 回日本生理学会. 3.15.2023, 京都
6. 井上建, 東美穂, 松島奈穂, 北島翼, 大谷良子, 作田亮一: ゲーム障害の質問紙検査 IGDS9-SF 日本語版の作成と有用性, 第 65 回日本小児神経学会学術集会. 5.26.2023, 岡山
7. 吉田有希, 北島翼, 淵上真裕美, 村山美優, 小木曾梓, 岩波純平, 黒岩千枝, 深谷悠太, 椎橋文子, 森下菖子, 松島奈穂, 井上建, 大谷良子, 作田亮一: FBT (Family Based Treatment) を通して家族関係に変化が生じた 1 例 第 41 回日本小児心身医学会. 9.15.2023, 和歌山
8. 岩波純平, 北島翼, 淵上真裕美, 村山美優, 小木曾梓, 吉田有希, 黒岩千枝, 深谷悠太, 椎橋文子, 森下菖子, 松島奈穂, 井上建, 大谷良子, 作田亮一: 自閉スペクトラム症児の症状における性差の検討「ネットワーク分析を用いて」第 41 回日本小児心身医学会. 9.15.2023, 和歌山

9. 村山美優, 岩波純平, 春日晃子, 淵上真裕美, 小木曾梓, 吉田有希, 黒岩千枝, 深谷悠太, 椎橋文子, 森下菖子, 松島奈穂, 北島翼, 井上建, 大谷良子, 作田亮一: 対人コミュニケーションに課題のある不登校児における心理介入
P-F スタディが自己理解と行動変容に役だった女兒例 第 41 回日本小児心身医学会. 9.16.2023, 和歌山
10. 塚本栞, 長谷川三希子, 齋藤潤考, 北島翼, 井上建, 大谷良子, 村上信行, 作田亮一, 上條義一郎: 「遺伝子治療を行った脊髄性筋萎縮症 I 型の一症例報告ー運動機能獲得の経過に着目してー」第 10 回小児理学療法学会. 10.21.2023、北海道
11. 長谷川三希子, 塚本栞, 齋藤潤考, 北島翼, 井上建, 大谷良子, 荒川玲子, 作田亮一, 齋藤加代子, 上條義一郎: 「薬剤治療を受けた脊髄性筋無力症患者の運動機能の変化ー薬剤治療は理学療法目的を変化させる」第 10 回小児理学療法学会. 10.21.2023, 北海道
12. 岩波純平, 淵上真裕美, 村山美優, 小木曾梓, 吉田有希, 黒岩千枝, 林佳奈子, 大森希望, 深谷悠太, 椎橋文子, 森下菖子, 松島奈穂, 北島翼, 井上建, 大谷良子, 作田亮一: 摂食障害に関連するツイートはどのような意味を持つか? 「Word2vec を用いた自然言語処理分析」第 26 回日本摂食障害学会. 10.22.2023, 東京
13. 林佳奈子, 大谷良子, 森下菖子, 淵上真裕美, 村山美優, 小木曾梓, 吉田有希, 黒岩千枝, 岩波純平, 大森希望, 深谷悠太, 松島奈穂, 春日晃子, 椎橋文子, 北島翼, 井上建, 作田亮一: 「症状モニタリングと生活の規則化を目的とした入院治療が可食嘔吐の減少に有効だった思春期神経性やせ症可食排出型の 2 例」第 26 回日本摂食障害学会. 10.22.2023, 東京

研修会講演・講義等

1. 大谷良子: 子どものこころ診療摂食障害入院プログラムの紹介 心の健康教育の理論と実践. ルーテル学院大学大学院. 1.12.2023,
2. 井上建: 神経発達症(発達障害)の基礎 埼玉県集団療育実践者育成研修. 1.22.2023, 埼玉県発達障害総合支援センター
3. 大谷良子: ビバンセカプセルって実際どうなの? 服用された当事者/家族の声を元に 武田 ADHD. 2.3.2023, WEB
4. 作田亮一: 小児科外来で役立つ子どものこころの診療~神経発達症の二次障害を中心に~ 足立区医師会小児科医会学術講演会. 2.16.2023, 東京
5. 井上建: ファブリー病診断症例のバイオマーカーの変化「痛みを Biopsychosocial model で考える」. ファブリー病疾患啓発講演会. 3.13.2023, WEB
6. 井上建: ゲーム・ネット・スマホに依存する人たち. 3.15.2023, 埼玉県朝霞保健所
7. 大谷良子: 小児注意欠如多動症におけるリスデキサメフェタミン特定使用成績調査 30 名の間接報告 第 65 回小児神経学会学術集会. 5.27.2023, 岡山

8. 作田亮一：世界摂食障害アクションデイ 2023 摂食障害とメディアの良い関係をめざして。摂食障害全国支援センター・一般社団法人日本摂食障害協会主催。6.4.2023, WEB
9. 大谷良子：ビバンセカプセルって実際どうだろう？服用した子どもと家族の声を元にこどものこころの支援を考える会。6.7.2023, 東京
10. 作田亮一：音楽療法の活用の可能性 昭和音学大学講義。6.17.2023, 東京
11. 井上建：神経発達症について「医師の立場から」心理系学部生病院実習講義 公認心理師オンライン実習(東京家政大学・ルーテル学院大学合同)。6.28.2023, 東京
12. 岩波純平：小児心身領域における心理師の役割 公認心理師オンライン実習(東京家政大学・ルーテル学院大学合同)。6.28.2023, 東京
13. 北島翼：医療からみた注意欠如・多動症の理解と支援 星美学園短期大学保育・教育特別セミナー。7.29.2023, 東京
14. 作田亮一：発達協会夏セミナー「行動の問題」への医学的な対応 幼児～学童期のかんしゃく・パニック 思春期のゲーム症。公益社団法人発達協会主催。8.4.2023, 東京
15. 小木曾梓：新型コロナウイルス感染症が子どもに与えた影響と不登校の子どもへの支援—心理士の立場から。春日部保健所子どもこころのネットワーク研修会。8.18.2023
16. 大谷良子：「食べられない」子どもたち「神経性やせ症と回避・制限性食物摂取症について」第41回日本小児心身医学会教育講演。9.15.2023, 和歌山
17. 作田亮一：不登校からみた神経発達症の問題 ～ADHD との関連を中心に～。岩槻医師会学術講演会 9.26.2023, WEB
18. 作田亮一：「小児科医の立場で 子どもの心と身体を育む」うちの子は発達障害かもしれない ～子育てに悩んでいませんか？～。第34回こどもの公開講座 小児科学会子ども健康週間。10.7.2023, 埼玉, 獨協医科大学埼玉医療センター, WEB
19. 大谷良子：養護教諭・学校関係者のための摂食障害ゲートキーパー研修 摂食症(摂食障害)について 第26回日本摂食障害学会。10.22.2023, 東京
20. 吉田有希：FBT 研修会「導入に苦労していませんか？」プレゼンター 第26回日本摂食障害学会。10.22.2023, 東京
21. 作田亮一：神経発達症・ゲーム症・摂食障害入門編 令和5年度埼玉県子どもの心の地域子育て支援事業研修会。11.5.2023, 獨協医科大学埼玉医療センター(越谷)
22. 作田亮一：「児童・思春期の摂食障害の基礎：早期発見・早期対応の重要性」さいたま市保健衛生局 こころの健康センター研修 11.17.2023, さいたま市
23. 作田亮一：小児領域の摂食障害～小児の特徴と外来～。2023年度精神保健に関する技術研修。第7回摂食障害治療研修～初心者が知っておくべき外来治療～, 2023年11月10日～12月2日, NCNP, WEB
24. 井上建：神経発達症について「医師の立場から」心理系学部生病院実習講義公認心理師オンライン実習(白梅学園大)。11.15.2023, 東京, WEB

報道等

1. 作田亮一：子どもの摂食障害、「やせ願望」なくても発症する回避・制限性摂食障害の原因は～脳の萎縮や多臓器に影響する前に早期発見を(東洋経済 education×ICT 編集部)2023.5.21 掲載
2. 作田亮一：「摂食障害 学校で対応」6割(毎日新聞) 2023.6.5 掲載
3. 作田亮一：「患者を生きる」 摂食障害というおぼけ 1(朝日新聞) 2023.6.7 掲載
4. 作田亮一：「患者を生きる」 摂食障害というおぼけ 4(朝日新聞) 2023.6.13 掲載
5. 作田亮一：子どもや 10～20 代で摂食障害が増加「コロナ太り」きっかけも(朝日新聞 デジタル) 2023.6.17 掲載
6. 作田亮一：男児殺害 20 年 教育現場で風化懸念 事件の詳細な資料なく(読売新聞 長崎版) 2023.7.2 掲載
7. 作田亮一：頑張り屋さんは要注意「摂食障害」の危険 YouTube きっかけで発症も 7月 5 日号(高校生新聞 on line) 2023.7.5 掲載
8. 作田亮一：養護教諭 6割 摂食障害に対応(読売新聞夕刊・オンライン) 2023.7.6 掲載
9. 作田亮一：周りの友達は細い子ばかりでつらい…自分の体形に自信を持つ方法を医師が解説 7月 12 日号(高校生新聞 on line) 2023.7.12 掲載
10. 作田亮一：摂食障害を乗り越えるには(TOKYO YOUTH HEALTH CARE 東京都 on line) 2023.7.14 掲載
11. 作田亮一：「一人でダイエット計画を立てないで」医師が警告 摂食障害を予防するには 7月 19 日号(高校生新聞 on line) 2023.7.19 掲載
12. 作田亮一：友達がやせすぎで心配…摂食障害かも? 症状チェックリストで周りができること 7月 26 日号(高校生新聞 on line) 2023.7.26 掲載
13. 作田亮一：SNS にあふれるダイエット情報…中高生への影響は? 摂食障害の引き金になることも 8月 2 日号(高校生新聞 on line) 2023.8.2 掲載
14. 作田亮一：「部活動顧問に減量命じられ…」小中学生にも広がる摂食障害(教育新聞) 2023.8.11 掲載